

入院診療計画書

婦人科開腹術(全麻用)を受けられる ()様へ

病名		年齢		生年月日		薬剤師	
症状		受持看護師		病棟		管理栄養士	

日付							～			
病日	入院日 (手術前日)	手術当日		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～5日目	手術後6日目	手術後7日目 退院	
		(手術前)	(手術後)							
目標	不安に思っていることが表出できる 心身ともに安定して手術を受けることができる	手術が受けられる状態である	痛みを我慢せず伝えることができる 手術後ベッドの上で安静に過ごすことができる		歩行することができる		排便がある		退院後の注意事項や生活について理解できる	
食事	昼から普通食が出ます 必要に応じて治療食が出ます 麻酔科医の指示時間以降は、絶食です	麻酔科医の指示時間以降は、絶食です 麻酔科医の指示時間までは、 飲水できます		朝から飲水ができます  昼から流動食が出ます 夕から5分粥になります	朝から全粥になります 昼から普通食が出ます 必要に応じて治療食が出ます 					
安静度	制限はありません 	点滴開始後も、歩行できます	ベッド上で安静です 足は、曲げたり伸ばしたりしても構いません	朝から動く練習をしています 尿の管を抜いたら、歩いてトイレまで行くことができます	制限はありません 					
清潔	シャワー浴ができます 	手術前にシャワー浴ができます 		看護師が身体を拭くのを手伝います 	シャワー浴ができます 					
点滴		手術までに点滴を開始します		術後1日目の点滴が終われば抜きます						
検査			体温、脈拍、血圧等、定期的に状態を見に行きます	血液検査を行います 					血液検査 尿検査を行います 	
処置 説明	・患者様識別のリストバンドを装着します ・必要物品の確認をします ・医師から手術について説明がある場合は、口ご家族も同席してください ・麻酔科医より全身麻酔について説明があります ・看護師から入院についての説明(オリエンテーション)があります ・手術日までに、薬剤師からお薬について説明があります ・就寝前に下剤を服用します	早朝に浣腸をします 手術部位の毛剃りをします 手術衣に着替えます (上半身は手術衣のみ、 下半身は下着とズボンを はいてください) 弾性ストッキングをはきます	尿の管を挿入します 痛みが強いときは、座薬や 注射などを使用します 吐き気強い場合は、吐 き気止めを使います 状態に合わせてナプキン の交換をします	点滴終了後、尿の管を抜きます 医師による創部の診察を行います口 (ない場合もあります)					薬剤師からお薬についての説明があります 医師から病理組織の結果について説明があります 退院後、外来受診時に説明する場合もあります 退院後の生活について説明があります	
注意点	◆準備するもの◆ ・腹帯 1枚 ・紙おむつ 1枚 ・バスタオル 1枚 ・食物やお薬などのアレルギー歴がある場合は、 医師または看護師にお知らせください  ・入院時は身体の装飾(指輪、マニキュア、ジェルネイル、 ミサンガ、ピアス等)化粧などは、 はらずに来てください	◇手術に行く時は、身につけているもの等は、はずしてください (化粧、入れ歯、指輪、ピアス、眼鏡、コンタクト等) 長い髪は左右どちらかのうしろでまとめてください ☆ 手術後の注意点 ☆ ・手術後、足を曲げたり、伸ばしたりできます ・尿の管を抜いたあと、最初のトイレ歩行は看護師が付き添いますので、お知らせください ・腸の動きを知るのに重要なので、ガスが出たらお知らせください ・腸の運動をよくするために、積極的に動きましょ								

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのをご了承ください

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※ 特別な栄養管理の必要性

☐ 有
☒ 無

主治医
私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

◇総合的な機能評価◇

☐ 評価対象外	
・日常生活動作	☐ 問題なし ☐ 要経過観察
・認知機能	☐ 問題なし ☐ 要経過観察
・意欲	☐ 問題なし ☐ 要経過観察

年 月 日 患者 又は 親権者・親族等サイン (続柄)